

I	幼稚園教育について	
---	-----------	--

幼稚園は、3歳から小学校入学までの幼児の教育を行う「学校教育のはじまり」です。学校教育法には、「幼稚園は、幼児を保育し、適切な環境を与えて、その心身の発達を助長する」と、その目的が述べられています。また、幼稚園教育の目標を次のように定めています。

〈学校教育法〉

- 健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。
- 集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと。
- 身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うこと。
- 日常の会話や、絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うこと。
- 音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽生えを養うこと。

II	落合第三幼稚園の概要	
----	------------	--

名 称 新宿区立落合第三幼稚園
 所在地 〒161-0031 新宿区西落合1-12-20
 電 話 03(3565)0914 FAX 03(3565)1167
 園 長 清水 仁（新宿区立落合第三小学校長兼任）



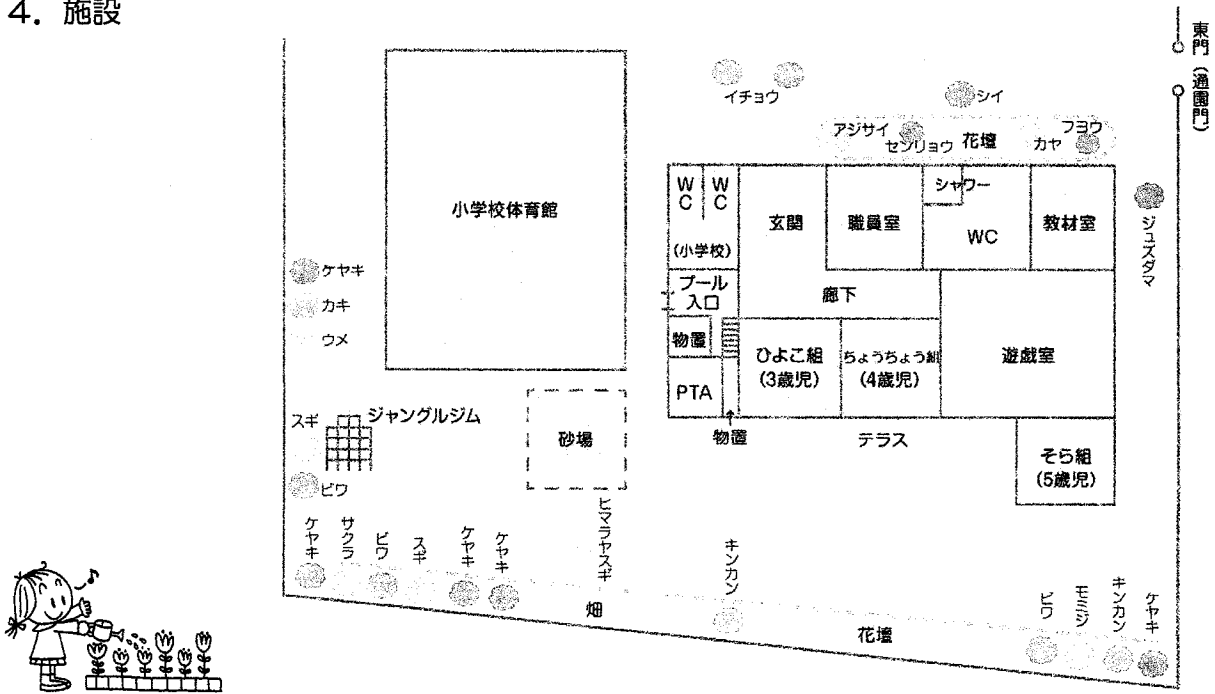
1. 学 級 数 3学級[3歳児(年少)・4歳児(年中)・5歳児(年長)各1学級]

2. 教職員数 園長（小学校兼任） 1名 副園長 1名
 担任教諭 3名 保育補助 数名
 用務員（業務委託） 3名 事務補助 1名

3. 園 医

職 名	氏 名	住 所	電 話 番 号
内 科	松本 香	新宿区西落合4-16-10	03-3951-1567
耳鼻科	久木田尚仁	新宿区西落合1-9-8	03-3952-5550
眼 科	園田 有紀	新宿区下落合3-15-20	03-5906-0755
歯 科	栗原 信人	新宿区中落合1-14-4	03-3565-2334
薬剤師	塩崎 光世	新宿区西落合2-15-11	03-3950-6982

4. 施設



- 校庭、園庭には、様々な種類の植木が植えられています。
- 園庭の南西側、砂場の横で季節に合わせて野菜や草花の栽培を行っています。園児たちが水やりをして育てています。
- 園庭にはカエルが住み、いろいろな昆虫もやってきます。
* 幼児が様々な自然に触れ、多様な体験ができるようにしています。

Ⅲ	落合第三幼稚園の教育	
----------	-------------------	--

1. 教育目標

人間尊重の精神に基づき、集団生活に適応できる心身ともに健康な子どもを育てる。

- げんきな子 基本的な生活習慣や態度を身に付けることができるようにし、自分から遊べる幼児を育てる。
- やさしい子 人とかかわる力を育み、思いやりの気持ちをもつ心豊かな幼児を育てる。
- かんがえる子 身近な環境の活用や知的好奇心を促す環境づくりを行い、自ら物事に取り組み、自分で考えて行動する幼児を育てる。

2. 基本方針

3・4・5歳児の発達を踏まえ、意欲的・主体的な遊びを中心とした生活の中で、心と体のバランスのとれた育成を図り、幼児の生きる力の基礎を培うために、保護者・地域と協働して幼児一人一人が充実した幼稚園生活を過ごせる教育に取り組む。

3. 特色ある教育活動

次のような教育活動を通して人とかかわる力を身に付け、生きる力の基礎を培っていく。

(1) 柔軟な心身および体を動かすことが好きな幼児の育成

- ・小学校併設の校庭、体育館を使用し、低学年の遊具、用具の活用等を含めて意欲的に体を動かせるようにし、体力向上を図る。
- ・コーディネーショントレーニングを導入し、心と体の調和的な発達を促す。
- ・様々な体験を通して挑戦する気持ちや物事をやり抜く力を育む。

(2) 幼稚園と小学校の連携

- ・小学生との交流や施設利用を通して、小学校生活の様子を身近で感じ、就学への期待感をもてるようにする。

(3) 身近な自然とのかかわりの中で知的好奇心や食への関心を広げる教育の推進

- ・飼育動物や園庭の草花や昆虫など、身近な環境の中で、自然の不思議さに触れたり、命の大切さに気付かせたりする。
- ・友達と一緒に弁当を食べたり、栽培物の収穫を体験したりすることで、食への興味関心を育む。

(4) 日本の伝統・文化の継承

- ・季節の行事や伝統遊びを家庭や地域と連携しながら体験する。
- ・折々の行事や活動を通して、日本の伝統・文化のよさや四季を感じさせ、豊かな感性を育む。

4. その他

(1) 幼児が安心して過ごせる環境づくり

- ・保育者は一人一人の幼児の行動を温かく見守り、受け止めるようにする。
- ・幼児の欲求や思いをとらえ、やりたいことが実現できる場や物、教材等、物的環境の工夫をする。



(2) 幼児のよりよい成長を目指す家庭との連携

- ・幼稚園と家庭が、その幼児に必要な援助や指導について話し合い、共通理解を深める。
- ・一人一人の幼児が心豊かな園生活を送ることができるように、PTAの協力を得ながら、園行事を進めていく。

(3) 幼児の知的好奇心を喚起し満たす環境づくり

- ・四季を見通した栽培活動、生き物とのかかわりを経験し、豊かな感性を培うとともに興味や関心を広げる。
- ・発達に沿って絵本・物語・図鑑などに十分に親しませ、想像する楽しさや、学ぶ楽しさを知る。